1 歴史の道探訪 中原街道コース

全長 4.2km 時間 52分

JR武蔵中原駅 ⇄ 240m 3分 ⇄ 地蔵尊 ⇄ 450m 6分 ⇄ 旧中原村役場跡 ⇄ 140m 2分 ⇄ 泉澤寺 ⇄ 50m 1分 ⇄ 二ヶ領用水 ⇄ 50m 1分 ⇄ 小杉十字路 ⇄ 110m 2分 ⇄ 油屋の庚申塔 ⇄ 220m 3分 ⇄ つけぎ屋の供養塔 ⇄ 90m 1分 ⇄ カギの道 ⇄ 180m 2分 ⇄ 西明寺 ⇄ 250m 3分 ⇄ 御主殿稲荷 ⇄ 280m 4分 ⇄ 石橋醤油店 ⇄ 150m 2分 ⇄ 安藤家長屋門（市重要歴史記念物） ⇄ 30m 0.5分 ⇄ 旧原家住宅表門（国登録有形文化財） ⇄ 480m 6分 ⇄ 中原街道 ⇄ 320m 4分 ⇄ 松原・青木根集落跡 ⇄ 140m 2分 ⇄ 丸子の渡し跡 ⇄ 980m 12分 ⇄ 東急新丸子駅

江戸と平塚の中原を結ぶ道は中原街道と呼ばれました。また相模を通るので「相州街道」、平塚で造られた酢が江戸城へ運ばれたので「お酢街道」などとも呼ばれました。やがて東海道が整備され、大名行列が東海道を通るようになると、中原街道は脇往還となり、以前の賑わいを失っていきました。しかし中原街道は沿線の物資や農作物の輸送などに欠かせない大切な道として、その後も人々の生活に深い関わりを持ち続けてきました。今も街道沿いには旧家や古くからの地名、商家、石仏、石碑などが残り、街道沿いで織り成されてきた歴史を偲ぶことができます。（川崎歴史ガイドより）

コースの説明

丸子の渡し跡と松原・青木根集落跡(MAP E,F-2)

中原街道を通る人々にとって、昭和10年に丸子橋が完成するまでは渡しが川を渡る唯一の交通機関でした。数多くあった多摩川の渡しの一つでした。渡し場の近くに松原・青木根集落がありましたが大正９年の築堤で姿を消しました。

丸子の渡しの再現イベント

小杉御殿跡(MAP D-2)

小杉御殿跡

家康が平塚の中原に建てた中原御殿に倣い、二代将軍秀忠が建てた小杉御殿は、家康、秀忠、家光の送迎や鷹狩の際の休憩や宿泊などに使われました。後に東海道が主街道になると廃止されました。御殿はおよそ1万２千坪（4万平方メートル）の広さに及び、表御門・御主殿・御殿番屋敷・御蔵・御馬屋敷・裏御門などが建ち並んでいました。

西明寺(MAP D-2)

西明寺は、有馬にあったものが室町時代の始めに現在の場所に移されたと伝えられています。中興の祖北条時頼にまつわる伝説があり、これにちなむ弁才天が出世弁天として境内に祭られています。小杉学舎はここの本堂を借りて始められています。

西明寺

カギの道 (MAP D-2)

カギ型の道筋は御殿の防衛の重要な役目を果たすもので、現在もその形を残しています。

泉澤寺(MAP D-3)

泉澤寺は、領主吉良氏の菩提寺として世田谷の烏山にあったものが焼失したため、室町時代末に中原の現在地に再建されました。吉良氏は税を免除して居住を促し、門前市を開いてこの地の繁栄を図りました。

泉澤寺

石造物群(MAP C-3)

旧中原村役場跡前から武蔵中原駅までの間には祠が多く見られます。庚申塔・地蔵尊・水天宮などがあり、供物や献花が絶えません。門前市が栄えた往時の民衆の信仰が、今も脈々と続いている証です。

地蔵尊